e-Learning ICT Training Course

パソコンを有効に活用する環境を整備する人材育成が急務です

ICT支援員養成講座

ICT支援員自己研修コース



JNK4情報ネットワーク教育活用研究協議会が開発した「ICT支援員養成カリキュラム」に基づく自己研修（elearning）コースです。

Bコースは、4つのサブコースで構成されていて、学校教育でのICT活用の意義や方法、教育現場での具体的な活動ほか教育の情報化や関連法規など必要な知識・技能を学習できます。同時開講のAコースは、情報技術の基礎だけでなく、システム運用（マネージメント）の基礎知識も学べます（CコースはBに情報技術の基礎を加えたコース）。すでに支援員として活躍しておられる方々も、実務を通してあいまいだったもの、疑問だったことを確認しなおすことができるカリキュラムになっています。〔常時開講、受講期間1年以内〕

B ICT支援員自己研修コース

7,900（税込）

B1 学校・教員とその支援

教員養成の仕組み（教員免許状）、教育にかかわる業務と教員の役割、教員研修の計画・実施への支援、自治体のポリシーと学校の実態に応じた支援員の役割など全８回

B2 知っておくべき教育情報化の知識

情報のデジタル化、ネットワークの仕組みと構成機器、学校のネットワーク、トラブルと適切な対応、ソフト・アプリ、ファイルの共有と管理など全8回

B3 知っておくべき法令・ポリシー

学校組織の理解、労働基準法等・業務の範囲、ハラスメント、学校教育法、学習指導要領、著作権法、情報セキュリティポリシー、個人情報保護法など全８回

B4 授業・学習とその支援

教育課程・指導案等の理解・GIGAスクール構想と一人一台端末の学習支援、情報活用能力育成・情報モラル教育・プログラミング教育等様々な場面での学習支援など全8回

C ICT支援員自己研修（含む情報技術基礎）コース

10,700（税込）

BコースとAコースの一部（A1.情報技術の基礎知識）から構成されます。

A 情報技術基礎・情報システム運用コース

5,400（税込）

将来 ICT や情報システムを活用した仕事への発展を目指す方向けのコースです。IPA 情報処理推進機構が示した「IT 人材に求められる IT スキル標準（ITSS）V3」のレベル 1 に相当します。

A1. 情報技術の基礎知識（コンピュータ、ネットワーク、データベース技術）と A2. 情報システムの管理・運用（情報化戦略を策定、情報化プロジェクト、システム運用に関する基本的内容など）の２つサブコースから構成されています。

～教育機関・研修機関向けアカウント一括発行受講料 参考価格～

10 アカウントより 100 アカウントまで一括購入割引があります。
下記は参考例（割引率：6%～最大 55% まで）、詳細はウェブサイトへ。

アカウント発行数	1アカウント当たりの受講料（税込）					75～100（一括定額）
	10～19	…	30～39	…	50～74	
Aコース	4,900円		4,500円		3,800円	28万円
Bコース	7,400円		6,400円		4,900円	35万円
Cコース	9,900円		8,500円		6,600円	48万円



〔監修〕永野和男　聖心女子大学 名誉教授 /ICT 支援員認定試験 実行委員長

ICT支援員は、単なる技術支援者ではなく、学校という教育現場でのスタッフの一員です。学校がどのような活動を大切にし、機能しているかについてもよく理解しておく必要があります。このコースは、情報技術だけでなく、学校での活動やそれを支援していくために必要な知識や技術を学ぶのにふさわしい内容となっています。近い将来、ICT支援員の資格取得を目指す方々はもちろん、すでに現場で活躍しているICT支援員の方々にも、ぜひ受講していただきたいと思います。

詳細・お申し込み ▶ https://dx.jnk4.org/itce/e-learningCourse/

特定非営利活動法人情報ネットワーク教育活用研究協議会（JNK4）
e-learning 講座 事務局　E-mail： e-learning@jnk4.org